教員と演習の紹介

①教員の研究テーマ
②演習の紹介・メッセージ
③演習のキーワード

大学院では，講義を履修し，論文指導を受けることが必要です。教員の研究テーマは以下の通りです。なお，年度によっては開講されない場合もあります。

社会経済システム専攻

安達　貴教

① 小売段階において企業は，消費者の属性や購買のタイミングによって価格を変えることがあるなど，販売戦略には多様な側面があり，また，物流過程において企業同士は多面的な関係を有しています。これらが消費者にとってどれだけの望ましさを持つように営まれ，また組織されているのかについて理解することは，円滑な市場社会を維持していくための競争政策や公共政策の根幹に関わることです。私はこの問題に対し，実世界データに基づいた実態的分析と，需要，供給，均衡といった諸概念を中心として構成される経済理論に基づいた構造的分析とを二本柱とし，双方の視点から理解を深めていくことに関心を持っています。

② 演習の科目名はカリキュラムの都合上「価格理論」となっていますが，「産業組織」をテーマとし，参加者が執筆中の論文あるいは関連論文の討論を中心とします。各参加者の研究状況に応じて，次のステップに進むために何が必要か，何をするべきかを確認する機会とするためです。なお、参加者は、理論的分析と実証的分析の双方に関心を持つことが必須であり、データ取得や複雑なプログラミングを厭わず、関連ワークショップには毎回積極的に参加する姿勢が求められます。

③ 産業組織論　応用ミクロ経済学　実証ミクロ経済学

伊藤　カンナ

① 現代西洋経済史を専門としています。現在は、1950年代―60年代のイタリア国内の後発地域（イタリア南部）の開発計画を中心に、世界銀行と援助を受ける側の借款交渉や国際的な政策協調の実態を解明し、ヨーロッパの統合過程や国際金融協調が一国経済の政策運営に与えた影響を検証しています。

② 西洋経済史の基本的文献や重要な研究書・論文を輪読・討議することで、経済史の中心的な論点や視角、実証の方法について学びます。同時に、参加者独自の研究テーマに関して研究報告を行い、史料の収集や読み方を身につけます。

③ 経済史　金融史　イタリア経済　EU経済

隠岐　さや香

① 社会思想史と科学技術史を専門としています。主に18世紀のヨーロッパを対象に，社会科学への「数学の応用可能性」という認識論的な課題がどのように議論されたのかという思想的問題と，科学の研究者が近代国家の形成期に「専門家」として権威を持つに至る過程という社会史的問題の双方を探求しています。また，後者に関連して，専門家支配とジェンダーの関係，研究環境のダイバーシティといった現代的な問題にも関心を持っています。

② 社会科学（経済学，社会学，近代政治思想など）の歴史を扱った基本文献（主に英語文献，希望があればフランス語文献）の講読により，社会思想や社会科学が近代社会の形成に果たした役割についての理解を深めます。また同時に，参加者独自の研究テーマにもとづく個別研究報告を行います。

③ 社会思想　18世紀　科学技術史　啓蒙思想　初期近代フランス社会　コンドルセ

工藤　教孝

① マクロ経済学の分析手法を用いて労働市場の景気変動を分析しています。特に，サーチ理論を用いて求職活動（＝失業状態）ならびに求人活動をモデル化し，モデルのシミュレーションから得られる統計的特徴をデータのそれと合わせていく活動に力を注いでいます。また，財政金融政策や資産価格に関する理論研究も行っています。

② 「上級所得理論Ⅰ」の受講を前提として，マクロ経済学の主要論文の分析結果を再現・追試する活動に力を注ぎます。特に，近年発表された最新論文の多くはコンピューターシミュレーションを多用しているため，マクロ経済分析に加えてシミュレーションを自分で行って論文の結果を再現することは，内容を理解する上で大変重要です。数理的・数量的な分析に明け暮れる毎日を一緒に楽しみましょう。

③ マクロ経済学　サーチ理論　数量分析　労働市場　金融市場　経済政策　シミュレーション

木越　義則

① 私の専門はアジア経済史です。とりわけ19世紀から20世紀前半にかけての貿易、海運、市場、物価、工業など比較的数値データで考証可能な分野に、経済学的な視点からアプローチすると同時に、パソコンで大型のデータベースを作成することを得意としてきました。オンラインですでに綺麗に整形された経済統計は、少なくとも1960年代以前についてはほとんど入手できません。過去の数値情報は、図書館や資料室の奥に設置された電話帳みたいに分厚く、独特の古紙のにおいが充満する書籍のなかに納められています。これをコツコツとパソコンに入力する地味な作業に人生の大半を費やしてきました。作成したデータを利用して、清朝後期から中華民国の中国で、対外貿易が拡大することで国内の広域的な流通構造がどう変化してきたのかを分析しました。今後は同じ視角から同時期の東南アジア、インドにも手を広げながら、近代アジアの交易図を再現できればと考えています。

② 演習では主に本と史料を読む訓練が中心となります。まずは経済史の重要な研究書（邦訳がない場合は原書）を輪読することで、経済史学の中心的な論点、実証の方法やスタイルについて知識を獲得します。次いで主に19世紀半ば以降のアジア経済に関連する史料に触れてもらい、史料の読み方・収集方法について理解してもらいます。歴史とパソコンが好きで、先進国よりも発展途上国の過去と現在に関心がある学生の参加を歓迎します。

③ アジア経済史　中国経済史　経済統計　データベース　貿易

小堀　聡

① 近現代日本経済史を専門としています。現在は，特に第一次世界大戦期から石油危機前後にかけての開発主義に着目して，戦後日本の特長と問題点の解明に取り組んでいます。

② 近現代日本経済史やその隣接諸領域（政治史・教育社会史・科学技術史など）のなかから1年毎にテーマを決め，それに関する論文・専門書を輪読・討議します。近現代史全般に強い関心のある方，史料を駆使した論文を書いてみたい方の参加を歓迎します。

③ 経済史　現代史　日本史

清水　克俊

① 経済的厚生という観点から人々にとって望ましい金融市場・金融システムはどのようなものか，現在の金融市場・システムにはどのような問題があるかということを研究課題としています。特に，ファイナンス理論，金融契約論，マクロ経済学的アプローチによって，金融規制や金融政策について理論的・実証的に分析しています。

② ③にあげるキーワードに関する問題を中心に扱います。テキストや論文などから基礎的知識を習得します。また，参加者の研究報告および討論を行います。金融機関または事業会社で金融の実務経験がある方はもとより，金融実務や金融市場・マクロ経済に関心のある方の参加を広く募集します。

③ 金融仲介機関(financial institutions)，金融市場(financial market)，金融契約(financial contracts)，金融規制(financial regulation)，金融政策(monetary policy)，クレディット・リスク(credit risk)，日本経済(Japanese economy)，経済政策(economic policy)，コーポレートファイナンス，デリバティブ

薛　進軍

① 開発経済学の理論研究と途上国の経済発展の実証分析をしています。開発経済学（Development Economics）は経済成長（Economic Growth）には含まれない問題を研究する学問です。成長を「量」というなら、開発は「質」といえます。私は主に「質」を重視する開発の視点から貧困、所得格差、労働移動、気候変動、環境汚染等の問題をテーマにし、調査・研究を行っています。また、世界銀行およびイギリス・中国・オーストラリアの大学との国際共同研究のプロジェクトとして、「中国の一帯一路が及ぼすグローバル化効果およびその環境負荷の評価」等、「炭素排出権取引市場ETS」の調査研究を実施しているので、ゼミ生の国内・海外での現地調査、共同研究および国際会議に参加させることも予定しています。

② 演習では、開発経済学の理論、実証分析の方法、および現地調査の手法を習得したうえで、上述のテーマを選んで研究を行います。習得した理論と自主研究の展開を促し、学位論文の課題に結び付く研究指導を進めます。研究者・公務員・企業の経営人材および国際機関で活躍できる人材の育成を目標とします。海外研修、国際交流、学会での発表の機会が多く、院生は多国籍で活発であることは本演習の特徴です。

③ 開発経済　経済発展　所得格差　環境問題　労働移動　中国経済　東アジア

園田　正

① 日本，中国，ベトナムの農家データに基づく自己雇用家計行動の実証分析，生産関数の推定，これらの分析に利用する計量経済学的手法（主にミクロ計量経済学の手法）を研究テーマとしています。

② 1年次では，テキスト，参考書，関連論文の輪読により，関心のある実証モデルの分析法を学びます。2年次では，1年次に学んだ方法を利用して修士論文の作成を進めてもらい，演習での報告を通じて完成を目指します。

③ 農家モデル　ミクロ計量分析　生産関数

立石　寛

① 経済均衡理論における変分問題，非線形（多価）作用素によって定義される発展方程式と，それを制約に含む変分問題，非線形積分作用素の解析的性質，Radon測度の積分分解，無限次元空間に値をとる函数が作るSobolev空間の函数解析学的構造について研究しています。

② 経済現象の数理構造に関する理解を深めることを目的とします。そのために，数理経済学におけるいろいろなトピックに関して演習を行うと同時に，位相空間論・積分論・確率論・微分方程式論・函数解析学といった，数理経済学の理解に不可欠な数学用具に関しても演習を通じて受講者の理解に資するようにします。

③ 数理経済学

玉井　寿樹

① 公共経済学を専門としています。特に，公的資本と経済成長について研究をしてきました。現在は，不確実性の下での公的資本の最適供給について研究をしています。

② 1年次は公共経済学の基本文献を輪読します。2年次は各自の研究について報告し，修士論文を作成します。

③ 公共経済学　公的資本　経済成長

田村　彌

① 情報の非対称性に起因する市場や組織の非効率性を軽減するために，どのような制度設計が望ましいか理論的な研究を行っています。特に，中央銀行による情報開示や組織における情報共有など，利用可能な情報をコントロールすることで意思決定者の行動に影響を与える情報環境の制度設計問題に取り組んでいます。

② 情報の経済学に関連するトピックについて基本的な内容の理解を目的にテキストや論文の輪読を行います。具体的には参加者の関心に応じて，契約理論や組織の経済学の基礎，あるいは金融経済学や政治経済学への応用などを扱います。また，修士論文の執筆に向けて参加者各自の研究報告を行います。

③ 情報の経済学　契約理論　金融市場　企業組織

長尾　伸一

① 現代人の考え方の基礎を形作った近代思想史を，経済学や社会科学の歴史を中心にしながら再検討しています。とくに近代科学の形成と，それによる宇宙観の転換がどのような影響を現代の社会観に与えているのかという問題に注目して，18世紀のニュートン主義と社会科学の形成の関係を調べています。

② 演習では近代ヨーロッパ思想から現代思想にいたるさまざまな問題を，参加者の報告を中心にしながら勉強していきます。特に、近代イギリス思想史，現代ヨーロッパ経済思想，現代科学思想が大学院での研究のテーマになりますが，その他の分野も参加者の関心に応じて取り上げます。

③ ニュートン主義　経済学方法論　18世紀　スミス　現代思想　科学思想

中村　さやか

① 私の専門は医療経済学です。医療の現実を理解しよりよい政策を考える上で、ゲーム理論、特に情報を持つ人と持たない人の間のかけひきについての理論モデルと、データから物事の因果関係を検証するミクロ計量経済学が、非常に有益だと考えています。具体的には、医療供給者の行動、所得と健康、避妊法選択、体型の決定要因等について研究してきました。現在は学校給食が子供の体形に与える影響や母子世帯を対象とした社会保障政策のが子供のいる世帯に及ぼす影響について実証研究を行っています。

② 数学的理論モデルと統計分析の基礎を確実に理解することを最も重視します。1年次はミクロ経済学と計量経済学の演習問題を解き、また、国際的に定評のある医療経済学のテキスト(Phelps, Health Economics; Sloan & Hsieh, Health Economics等)を論読します。2年次には個々人の研究テーマに応じて論文の論読を行います。

③ 応用ミクロ計量経済学　医療経済学　ミクロ経済学

鍋島　直樹

① ケインズとカレツキの学説について，理論・思想・政策の三つの側面からの総体的な再検討を進めています。それと同時に，ポスト・ケインズ派やアメリカ・ラディカル派など，ケインズとカレツキの知的遺産を継承し，その一層の発展を目指している現代政治経済学の諸潮流の動向にも関心を持っています。

② ラディカル派政治経済学に関する基本文献（おもに英語文献）の講読を通じて基礎理論の習得をはかるとともに，参加者各自の研究テーマにもとづいて個別研究報告を行ないます。それを通じて，社会的コンフリクト・権力・支配などの政治的・社会的要因のはたらきが，資本主義経済の動態および構造変化においていかなる役割を演じているのかについての理解を深めます。

③ 政治経済学　経済学史　ケインズ　カレツキ　ポスト・ケインズ派　アメリカ・ラディカル派

根本　二郎

① 種々のデータ解析手法による国，産業ないし企業の生産／費用構造の分析と，それに関連する経済政策の定量的評価。特に，現在は次のような問題を扱っています。
(1)計量経済学およびOR的手法による生産効率計測法の開発
(2)公益事業（電力，電気通信，鉄道）の費用構造の計測と，その産業組織論的特性（規模の経済性，範囲の経済性など）の分析および生産性と効率性の計測
(3)高等教育機関の評価のための費用構造の計測と，その産業組織論的特性（規模の経済性，範囲の経済性など）の分析および生産性と効率性の計測

② データ解析の手法と経済学の理論的フレームワークに基づき，企業行動や消費者行動の実証的研究を行います。ミクロ的な経済主体の行動に限らず，マクロ的な経済予測や政策評価も演習の範囲とします。できる限り早い段階で修士論文のテーマを決定し，1年次のうちに理論的バックグラウンドを固め，必要な分析手法を修得できるよう演習を進める。2年次においては，修士論文研究に集中します。

③ 実証経済学　計量経済分析　生産関数　マクロ計量モデル　産業連関分析　経済予測

花薗　誠

① 産業組織，企業組織の理論的な研究を専門としています。その中でも特に，インセンティブの理論－すなわち，「適材適所」を実現するために必要な私的情報，生産活動における望ましい貢献努力などを，自発的に引き出すインセンティブを与える仕組みとしての組織，制度，または契約の理論的研究－に関心があります。

② ミクロ経済学，ゲーム理論，および契約と情報の経済分析の基礎的な知識をテキストや主要な論文の輪読を通じて習得すること，および各自のテーマに従った研究報告とそれについての討論を通じて新しい論点を構築することを目指します。

③ インセンティブ　契約と情報の経済分析　産業組織　企業組織　ゲーム理論

福澤　直樹

① 現在多くの先進工業国では、市場経済を基調としながらも社会保障が不可欠の国家機能として制度化されています。このような福祉国家体制が、前近代的社会から今日の高度工業化社会にいたる経済史的展開の中でどのように形成されてきたのかを経済社会の構造変動の観点から研究しています。対象としては国家政策だけでなく、自治体や教会・各種慈善団体等の中間的、ないし私的セクターなどを総体的に把握しつつ、近現代の福祉社会の展開の論理について考えています。主にドイツを研究対象とし、これまでは最も古い歴史をもつ同国の社会保険を中軸に研究を進めてきましたが、近年は市場経済社会の中でそうした社会的調整を必然化させてきた経済秩序（ドイツのオルドリベラリズムなど）にも焦点を当てて研究をしています。

② 演習の内容は西洋経済史で、参加者の希望に応じて、社会政策史・社会保障史などにも立ち入ります。その上で参加者が各自の関心に基づき報告を行い、それをうけて討論をします。現在多くの国は様々な社会経済問題ないし公的財政などの問題を抱え、そこにおいて社会保障の縮小的改革や増税（或いは減税）などが議論に上げられています。それはそれで当然のことでしょう。しかしその際そうした社会的調整の根拠や必然性などが十全に理解されているのかといえば、心許ありません。歴史的に見られた市場経済のもとでの経済過程への社会的な調整の根拠や範囲、現代の経済社会における「共同性」などについての明確かつ論理的な理解が今こそ必要とされているのではないでしょうか。こうした問題意識などをもちながら福祉国家ないし福祉社会の論理について、皆で議論しながら考えていきましょう。

③ 西洋経済史 ドイツ経済史　社会政策史　社会保障史　社会国家　福祉国家　福祉社会　福祉社会史

藤田　真哉

① 所得分配と経済成長，景気循環のあいだの関連性について，ポスト・ケインズ派経済学やレギュラシオン・アプローチなどの諸理論に基づき研究しています。

② 演習の1年次は，現代の古典派政治経済学や制度経済学の基本的な諸文献を輪読します。2年次は，参加者が各自の研究について報告し，議論を重ねることを通じて，修士論文を作成します。

③ ポスト・ケインズ派経済学 レギュラシオン・アプローチ　賃金主導型成長　資本主義の多様性

萬行　英二

① 人びとが健康に生きてゆくためには、どのようにすればいいのだろうか。経済的に豊かになれば、人びとの健康は改善するのだろうか。教育を受けて情報処理能力が向上すれば、健康で長生きできる可能性は高くなるのか。社会的なストレスは健康を害する要因なのか。その他にも様々な要因が健康に影響を与えるかもしれない。これらの仮説について、入手可能なデータは何と言っているのか。健康の決定要因にかかわる仮説について実証研究を行っている。

② 社会科学における実証研究の問題点を理解した後（相関と因果関係の違い）、既存の優れた論文がどのようにして、因果関係の立証に迫ろうしているか考える。修士論文には因果関係の立証を必ずしも求めないが、何か面白い仮説の検証を期待する。

③ 健康、実証研究、開発経済、応用ミクロ計量経済

柳原　光芳

① 世代重複モデルによる経済発展に関する理論およびシミュレーション分析をしています。現在は特に，次の3つの点を中心に研究を進めています。
(1)教育メカニズム(公教育・私教育などの教育制度，あるいは中央・地方政治による教育供給)が経済厚生あるいは経済成長に与える影響についての分析
(2)日本経済に関わる財政シミュレーション分析
(3)世代重複モデルそのものに関する研究

② 数学の基礎的知識を前提とした上で，参加されるみなさんの興味関心に基づいて，財政，教育の経済学，マクロ動学理論の論文の輪読を進めていきます。疑問点については徹底的に討論し，参加されるみなさんの研究の一助となるような演習を目指していきたいと思っています。

③ 世代重複モデル　教育　人的資本　経済成長　中央・地方政府

柳瀬　明彦

① 国境を越えた経済的取引(貿易や資本移動)に伴う企業や家計の意思決定や政府による政策決定に関する諸問題を理論的に研究しています。最近は，特恵的貿易協定と非関税障壁の戦略的決定，公共インフラの蓄積と貿易，資源・環境問題と貿易などの研究テーマに取り組んでいます。

② 国際経済学や応用ミクロ経済学分野における基本的な文献の検討を通じて，問題の理解とともに分析手法の習得を目指します。そのうえで，各自の関心に応じて研究テーマを設定し，先行研究のサーベイを通じて研究テーマに関する理解を深めるとともに，自らの研究成果の発表とそれに対する討論を通じて，研究の更なる発展を目指します。

③ 国際経済学　応用ミクロ経済学　経済動学

産業経営システム専攻

犬塚　篤

① ミクロ組織論，なかでも実証データをもとにした数理的解釈を得意とし，組織現象のメカニズムやそれに伴う組織行動の変容等を，計量的に解明（表現）することに強い関心を持っています。特に，知識の共有や移転，組織内意思決定，異組織・技術間の統合や連携等に関わる理論的問題を，数量化技法やネットワーク技法等の統計的・工学的アプローチによって明らかにしようとしています。

② 当研究室のゼミ生は，何らかの実証的研究に取り組んでいただきます（文献資料だけに基づく理論研究は取り扱いません）。研究の遂行にあたっては，学術的知識のみならず，現場からデータを収集する実践力も必要となります。問題意識やデータ入手の確実性という点では，社会人学生を歓迎します（指導教員も実務家出身です）。
研究テーマについては，実証研究であれば特に問いません。指導教員の専門領域は，知識マネジメントや経営組織論ですが，テクノロジー・マネジメント（技術経営），知的財産マネジメント，サービス・マネジメント，経営戦略，人材管理等の幅広い研究領域を扱うことができます。

③ ナレッジマネジメント　ネットワーク分析　特許分析　技術経営　サービス・マネジメント

江夏　幾多郎

① 人事管理や働くことについて，社会学的・社会心理学的な観点から分析しています。特に，処遇や雇用における「公正」という概念が企業や社会でどのように定義され，それが人事制度というレンズを通じて個人や組織の行動にどう影響するのかについて研究してきました。その観点から「成果主義」「正社員と非正社員の間の均等処遇」「人事部の位置づけや役割」というものに具体的には着目してきました。

② （1）研究報告，（2）文献輪読，から成り立っています。（1）については，参加者同士での討議をもとに，初年度に研究課題の設定，修士論文の実際の執筆を目指します。（2）については，具体的な内容や言語については参加者の問題意識や理解度を反映させて決定します。「手垢のついた，汗臭い」データに基いた理論・論文の構築に関心がある方の参加を希望します。学生と教官の双方にとって，研究上の関心・方針の面での乖離は望ましくありません。入学試験の際には，皆さんの学力のみならず，私が提供できるリソースが皆さんのニーズに本当にかなっているのかどうか判断します。皆さんとしても，事前の情報の収集や発信をなるだけ行ってください。関心領域についての文献や資料を一定以上読み込み，何らかの持論・仮説を持っていることは，受験・入学に際しての当然の前提です。

③ 人的資源管理　労働意識　フィールドワーク

小沢　浩

① 管理会計を主な研究領域として，製造企業を対象としたコストの管理，あるいはコスト情報に基づく組織のマネジメントについて研究しています。マクロなレベルでは情報処理アプローチによる組織構造論，ミクロなレベルでは，動作・時間研究などの経営工学(IE)の知識を背景として，人間関係などの情緒的な視点からよりも，機械的・技術的なシステムとして組織を考えようとしています。これまでは，トヨタ生産方式やセル生産などの生産方式の研究をしてきました。現在は，製品開発段階における原価低減（原価企画）の研究や，「持続的成長」をキーワードとして長寿企業の研究に取り組んでいます。

② 理論を通じて実務や事例を促え直すことで，経験や観察だけからは発見されない問題点や問題解決の糸口を見つけることを目標とします。そのために，演習では，文献の輪読と討論を通じて基本的な理論の習得を目指します。

③ 管理会計　トヨタ生産方式　原価管理　生産管理

木村　彰吾

① 会計と経営が交わる管理会計の領域で，以下の問題について現在研究を行っています。
(1) 日本のものづくりのマネジメントと整合する管理会計のあり方
(2) 組織にとって望ましい行動をメンバーにとらせるためには，どのように管理会計システムを設計・運用するとよいか
(3) 日本的管理会計はどのように生成してきたか
(4) 企業間管理会計

② 実務経験のある方は，実務で体験した問題を理論的に考察し，解決するための考え方を身につけることを目標とします。実務経験のない方は，管理会計，経営戦略等の文献サーベイに基づいて，関心のある問題を取り上げ，その問題について学術的な論文を書くことを目指します。演習に参加する上で基本的な会計の知識を有することが望ましいが，そうでなければ必要に応じて教員がレクチャーします。

③ 管理会計　マネジメント・コントロール　企業間管理会計　戦略的コスト・マネジメント

坂口　順也

① 企業の経営管理活動に関連する会計情報の利用と，そのための仕組みの設計・運用を対象とする管理会計ついて研究しています。最近の主な研究テーマは次の三つです。第一は，企業間における管理システムの設計と運用について検討する組織間マネジメント・コントロールです。第二は，日本企業におけるマネジメント・コントロール研究・実践の特徴についてです。最後は，設備投資のマネジメント・プロセスの検討に取り組んでいます。

② 管理会計に関連する知識の習得とその利用を目的とします。そのため，まず，多様な管理会計の文献（国内の雑誌論文や海外の雑誌論文を含む）を輪読し，その概要や疑問点についての報告を行います。これをふまえて，個人の研究報告を行います。

③ 管理会計　マネジメント・コントロール　組織間　原価管理　原価計算

仙場　胡丹

① 広く会計学を研究範囲としていますが，経済主体の経済的な影響（例えば財務情報の有用性の側面）を数量的に考慮しながら，会計システムの構築（例えば国際会計基準の導入の是非問題）を提言していくことは，現段階の私の研究テーマです。また，「監査論」講義を担当していることもあり，監査研究領域についても注目しています。

② 必要に応じて，会計学の文献（日本語と英語）を輪読します。そして，参加者には自分で研究テーマを決めてもらい，研究報告を行ってもらいます。

③ 会計学　財務会計　監査　会計情報　国際会計基準　実証分析

高橋　秀徳

① General Research Area: Entrepreneurial Finance, Corporate Finance, Behavioral Finance. Specific Research Area: Initial Public Offerings, Venture Capital, Investor Sentiment.ファイナンスに関する実証研究。ベンチャーキャピタル（VC），新規株式公開（IPO）やアンダーライターとの関係といったベンチャー企業のファイナンスに関すること。また，投資家心理が資産価格に与える影響など。

② The objective of the seminar is to encourage students to explore ‘interesting’ research questions in finance and/or management. I expect that you read and discuss many papers. The grades will be based on your discussion of the papers that we will read (e.g., Journal of Finance, Journal of Financial Economics, Review of Financial Studies, Management Science, etc.).ファイナンス分野のトップジャーナルに掲載された論文や掲載される可能性の高いワーキングペーパーを読み議論する。研究テーマによっては，ファイナンスのみならずアントレプレナーシップやマネジメント分野の論文も読む。よい論文を読むことを通じて課題設定，分析方法や論文の書き方を学ぶ。

③ Corporate finance; Entrepreneurial finance; Empirical analysis

角ヶ谷　典幸

① 日本および世界の会計基準やその周辺制度を題材にして，各国の会計・監査・ガバナンスシステムについて研究しています。最近はとくに会計制度や会計人の判断力の多様性に関心があり，それが国際財務報告基準(IFRS)へのコンバージェンスにいかなる影響を与えているのかについて研究しています。

② 会計制度の多様性あるいは世界の会計人の判断力の多様性に関心のある方々の参加を希望します。英語による論文執筆およびプレゼンテーションも歓迎します。

③ 経営分析　財務会計　国際会計　国際財務報告基準(IFRS)　ジャッジメント　実験会計学

中島　英喜

① (1)証券投資と資産価格形成に関する実証分析およびモデル選択
(2)社会的選択の観点に立った公的主体（公的年金や企業年金等）の投資規範評価
(3)投資信託等の投資委任市場の均衡分析

② 修士論文に関連する分野について各自の研究報告を行います。また，これら研究に必要な知識を得えるために専門書や論文の輪読を行います。

③ 証券投資　資産価格　リスク制御　モデル選択

中屋　信彦

① 旧東側諸国の市場経済と企業経営について実証的な研究を進めています。「社会主義市場経済体制」とはそもそも如何なる経済体制であるのかを主要関心事とし，その構造や実態を企業という経済活動の実際の担い手の水準において把握する研究に取り組んでいます。

② 演習は，各種の改革論争や企業調査報告書の輪読，参加者各自の調査報告を中心に進めます。

③ 比較経済体制　比較経営　移行経済　国有企業改革

野口　晃弘

① 企業外部の利害関係者を報告対象とする財務会計、特に新株予約権など資本会計を研究テーマとしている。また、分散型台帳技術と簿記について研究を進めている。なお、海外の研究者とはイスラム会計に関する共同研究を行っている。

② 制度会計及び国際会計に関する論文執筆能力を高めるため英語でも演習を行う。
会計学と会社法の学際的研究が一つのテーマであり、国内外の研究集会での研究報告を目標とする。

③　財務会計　制度会計　国際会計　会社法　分散型台帳技術

樋野　励

①　生産システムの仕組みを理解し，産業のより良い発展のために研究を行っています。世の中には様々な生産システムがあり，先人達の多種多様な工夫と努力の上に成り立っています。その動きは留まることなく，これからも人々の生活様式の変化に追随し，ときには牽引するために生産システムはその姿を変えていくに違いありません。そんな変幻自在な生産システムには，核と成り得る基本的な仕組みがあると考えています。私はその核となる仕組みを解き明かすことで，これからの我々の生活や社会を支えていく生産システムの発展に貢献したいと考えています。

②　それまで慣習的に行われている工夫，たとえば棚の設置や迂回路の利用など，直感的には正しいと感じていても，問われるとうまく説明できない生産上の方策はいくらでもあると思います。そういう何気ない疑問に答えを見つける過程に新しい知識の獲得があると考えています。私自身は，スケジューリングと呼ばれる最適化問題を拠り所に研究を行っていますが，手法はこれにこだわる必要はありません。論理的な思考を常に行うように心がけることを要望します。

③ スケジューリング　数理モデル　最適化　シミュレーション

宮崎正也

① 日本企業の競争力・競争優位性を、どのようにして確保し、保持していくのか？そのための戦略を「資源ベース戦略論」「アーキテクチャ論」「イノベーション論」といった概念的な枠組みを活用して研究しています。ものづくり・新製品開発の具体的な事例を取り上げて、フィールド調査します。現実の企業活動の観察から理論仮説を発見・構築し、それを自ら実証していくのが、私の研究手法です。

② 「資源ベース戦略論」「アーキテクチャ論」「イノベーション論」を議論している主要文献を読み、基礎概念を理解します。参加者は、それらを批判的に吸収し、ご自身の研究に役立たせてください。また、実際の企業活動で観察された事象をケース・スタディーにまとめて報告してもらい、全員で議論する機会もつくりたいです。

③ 経営戦略　イノベーション　事例研究